

高石商工会議所景気観測調査 2018年6月調査

(調査概要)

- 調査対象:高石市内 63 社(業種内訳 製造業10社、建設業13社、小売業・卸売業17社、飲食業8社、サービス業15社)
- 調査時期:2018年6月
- 調査項目:業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況
- 調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		仕入単価		従業員	
増加	14	下落	2	不足	13
不変	27	不変	34	不変	50
減少	22	上昇	27	過剰	0

業種や個社により異なる景況感であり、全体的に**仕入単価の上昇**と**従業員不足**が顕著な課題となっている。

(製造業)



売上高		採算		仕入単価	
増加	3	好転	3	下落	
不変	6	不変	6	不変	4
減少	1	悪化	1	上昇	6

売上高は比較的堅調であるが**仕入単価が上昇**している。利益率確認のため前期比での**売上高総利益率のチェック**が必要である。

(建設業)



売上高		採算		従業員	
増加	4	好転	3	不足	4
不変	7	不変	9	不変	9
減少	2	悪化	1	過剰	

売上高は比較的堅調であるが**人手不足感が強い**。建設業など人手不足が顕著な業種に絞った取り組みを**おおさかしごとフィールド**が実施している。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	1	好転	1	好転	
不変	9	不変	8	不変	9
減少	7	悪化	8	悪化	8

売上高の減少により業況が悪化している。今後に向けたビジネスプラン構築も必要と思われるが、**経営革新計画**や**経営力向上計画**の認定などへの取り組みがその参考になる。

(飲食業)



売上高		採算		仕入単価	
増加		好転		下落	
不変	3	不変	4	不変	1
減少	5	悪化	4	上昇	7

売上高の減少、**仕入単価の上昇**により採算が悪化している。**ABC分析**の実施や**メニュー構成の再検討**による在庫の適正化、小規模事業者持続化補助金など**支援策の活用**など事業の見直しと販売促進の両面からの取り組みが望まれる。

(サービス業)



売上高		従業員		業況	
増加	6	不足	5	好転	3
不変	2	不変	10	不変	7
減少	7	過剰		悪化	5

個社ごとの業況に差が大きい。業種特性もあり**人手不足の影響が大きい**。**セミナー受講**などにより個社ごとの人事確保と定着の手法を確立することがまず大切である。